那覇市立教育研究所
研究所だより

研究員の検証授業を終えて

那覇市金城３－５－３
所長　田中　浩三

●４月に入所した教育研究員も６月、７月にそれぞれの検証授業を終え、まとめの段階に入っています。ご協力頂いた城北幼稚園、真嘉比小学校、真地小学校、寄宮中学校の園長、校長先生をはじめ職員の皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

教師力を高める「夏期研修講座」終わる

所長　田中　浩三

巷では「教師力」という言葉が使われています。一般的に「学習指導力」や「学級経営力」「教師としての資質」等を兼ね備えているかを問うときに使われているようです。

本研究所では、八月十五日までに「夏期授業実践講座」(530 名)と「パソコン講座」(140 名)のそれぞれ九講座が実施されました。各学校での校内研修等多忙な時期にも関わらず、各講座とも市内の多くの先生方が積極的に参加して頂いたこと、さらには各講座とも二時間三十分の間、受講者の先生方が真剣な眼差しで学んでいたことに感動と感謝の気持ちを心から感じた次第です。

「授業実践講座」を拝聴させて頂き、また受講者の受講後の感想等を読ませて頂いた中で、参加者一人一人が真に「教師力」が高まっている様子を実感しました。その様子をいくつか紹介します。

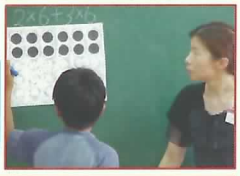
国語：文に書き込んでいくという方法は、今までやったことがなかったのでとても新鮮でした。書き込むことによって自分も内容が理解できることを感じました。
算数：言語活動の充実には「言葉と図と式の関係」を意識して指導する、系統性を意識して押さえる、答えを出させるための発問を工夫することの三つが大切だと分かりました。
道徳：導入や中心発問の工夫、終末のまとめ方を分かりやすく説明されていてとてもわかりやすかった。特に、言葉のかけ方、認め方などにより相手をいい気持ちにさせ、満足感を得ると楽しい学級経営ができると思いました。

以上、三講座の紹介ですが、どの講座においても講師がこれまで授業実践して蓄積してきたノウハウを丁寧に熱意を持って伝えており、終了後の受講者の充実した笑顔が印象的でした。

また、「パソコン講座」においても、ホームページ作成法やパワーポイントやエクセル活用法、動画編集法等、受講者のニーズを踏まえた講座が行われ、今後のコンピュータ指導における「教師力」を大いに高めたものと思います。

96 期 教育研究員「検証授業」終わる

これまでの研究の成果を検証するために、次のような日程で検証授業を行いました。また、授業研究会では、活発な意見が交わされ充実したものとなりました。



6/28(火)　城北幼　仲盛夫美子　研究員

テーマ
「思いや考えを伝え合うための援助の工夫」
～「粘土遊び」の表現活動を通して～

城北幼稚園職員の御協力の下、検証保育を終えることができました。課題を持ち帰る内容でしたが、所長、指導主事の先生方のご指導を頂き、研究員、全てに支えられました。

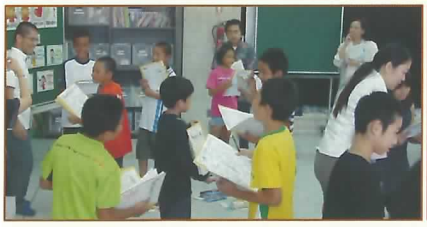
6/17(金)　真地小　大城　香織　研究員

テーマ「数学的な思考力・表現力を高める指導の工夫」
～子どもの思考をつなげる手立て～

検証授業は実施してみて初めてわかることがたくさんありました。これを機にまた新たな課題がみつかりました。残りの期間で，自分なりのこれだ！というものをつかみたいです。

7/7(木)　真嘉比小　松川　好孝　研究員

テーマ「積極的にコミュニケーションを図る児童の育成」
～「タスク活動」と「『つなぎ言葉』を取り入れた活動」を通して～



研究仮説の有効性を確かめるための検証授業では「手だてをどのように図るか」「子どもの変容をどうとらえるか」を具体的に見えるように心がけました。子どもの反応に沿った授業展開の大切さを改めて実感しました。

7/1(金)　寄宮中　仲宗根歩　研究員

テーマ「数学的な見方や考え方を高める学習指導の工夫」
～問題の工夫と練り合いの場を通して～

とても生徒が一生懸命よく考えて頑張っている姿に感激しました。自分自身はまだまだ理想とする授業に向けて日々，改善が必要だと感じさせられました。寄中１の３のみなさんありがとう！

8/4(木)には、研究所会議室において、「中間検討会Ⅱ」が行われました。「中間検討会Ⅰ」で発表した内容に加えて、検証授業の指導案及び結果と考察ついて発表し、整合性があるかどうか質疑応答・意見交換を行いました。